

第9回 令和7年4月24日（木）

「藤井聡太さんのぶれない生き方について。」

この時代に生きて、藤井聡太さんと大谷翔平さんの活躍をLIVEで見られたというのは何十年後かに自慢できることかもしれません。

私が特にすごいと思うのは、藤井聡太さんのブレない心です。

彼は将棋が大好きで、負けて悔し泣きをしても絶対にあきらめることなく努力を続け、今の地位を手にかけています。でも彼にとって7冠とか8冠とかはあまり関係ないような気がします。

藤井さんは小学校時代、将棋をする時間が欲しくて宿題を出す先生に意見をしましたそうです。「僕はこの課題については理解している。だから宿題をやる意味が分からない。将棋をやる時間が欲しいから宿題をなくしてください。」

また高校の卒業直前にもこんなことがあったそうです。

「高校で勉強をする時間、すべて将棋に集中したい」

あと何カ月で卒業、しかも学校も休んでいたって卒業できるのに、彼はそこで高校中退を選択しました。将棋で失敗したら「あのとき卒業していれば・・・」という人がいるかもしれません。でも藤井さんにとって成功するか失敗するかはあまり関係がない。そして自分以外の人の評価や声も気にしていない。

大谷さんは卒業時、結局日本のプロ野球を選びました。これが良かったか、悪かったかは引退したときに大谷さんが決めることです。藤井さんのすごさは自分の中に自分を測る「ものさし」をしっかり持っていることだと思います。

私自身、藤井さんのような生き方は絶対できないと思いますが、彼の一途な情熱には本当に感服しますし、少しでもこんな生き方をしてみたいなと感じます。

みなさんには「第1志望」を大切に、目標を実現してほしいと思います。そして目標は自分でしっかり考えて、自分が納得する進路を選択してください。

目標に向かう「心」を大切に。